挨拶

日本証券業協会　副会長　渡辺達郎

本日は、皆様大変御多忙のところ、私ども日本証券業協会 証券決済制度改革推進センターが主催いたします「証券決済制度改革推進フォーラム 2006」に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃は日本証券業協会の業務につきまして御理解・御協力をいただいておりますことも併せて御礼を申し上げます。

フォーラムの開催に当たりまして一言、御挨拶を申し上げたいと思います。このフォーラムは我が国の証券決済制度改革の全体像の理解促進及び意識向上等を目的といたしまして開催させていただいておりますもので、一昨年度から３回目の開催となります。特に本年度は、メインテーマであります株券電子化の実務検討の状況を広く市場関係者の皆様にお知らせするため、東京の他、大阪においても開催することといたしました。

皆様御承知のとおり、我が国における証券決済制度改革は、平成 12 年に金融審議会や証券受渡・決済制度改革懇談会の報告書におきまして、「我が国証券市場がその機能を発揮し国際的な競争力を強化していくには証券取引の重要な基盤である証券決済システムをより安全で効率的なものに改めていくことが欠かせない」との提言を受けまして、本格的な検討が開始されたものです。

我が国における証券決済制度改革は着実に進展をいたしており、国際的にも我が国証券決済システムは欧米主要国に比べて遜色のないもの、項目によっては最先端となっているという評価が定着してきています。このフォーラムでの御講演やセッション等で詳細な御説明をいただけるものと考えていますが、証券決済制度改革の主な動きについて、私から簡単に御紹介をさせていただきたいと思います。

まず、改革の基本となります法制面の動きにつきましては、一昨年６月９日に株券等の電子化を図る法律が公布されました。これによりまして本格的な検討に着手されましてから５年目にして、我が国における有価証券の不発行化、いわゆる電子化に関する統一的な法制度の整備が完成いたしました。先ほど申し上げました懇談会の報告書の作成の時には、「株券の不発行制度導入は絵空事であり、そのようなことを報告書に書けば評価を問われるのではないか」というような意見もありましたことを考えますと、目を見張る展開であります。この法律の制定により、証券決済制度改革の焦点は、現在では、皆様御存知のとおり、すべての有価証券の電子化対応に移っております。

有価証券の電子化法制に基づく振替決済制度の構築につきましては、既に国債は 2003 年１月から、また短期社債、いわゆる電子ＣＰも同年３月から稼働しています。また、

一般債につきましても、関係者の御努力の結果、直近であります本年１月 10 日に予定通り開始されております。その結果、残りは投信と上場会社の株券ということでございまして、投信が 2007 年１月から、また、本フォーラムのメインテーマであります上場会社の株券につきましては、2009 年６月まで、これから約３年以内に電子化に一斉移行するということとなっています。

以上のように、証券決済制度改革は着実に進められてきているところですが、本フォーラムを主催いたします証券決済制度改革推進センターは、日本証券業協会が主宰しております証券受渡・決済制度改革懇談会の事務局を務めておりまして、証券決済制度改革に関する各種の周知・啓発活動、あるいは改革の実現に向けたマイルストーンの公表を同推進センターのホームページにおいて行っています。現在は、特に御関心の高い株券電子化制度への円滑な移行に向けまして、その実現に向けたマイルストーンの作成、今後ますます重要となってまいります一般投資家を中心とした周知・啓発活動に注力をすることによりまして、制度改革の進展に対応してまいりたいと考えております。

今後、期待されます我が国証券市場の機能向上、あるいは投資家にとって、より魅力のある証券市場を早期に実現していくため証券決済制度の向上は不可欠でございますので、市場関係者の皆様には引き続き御協力をよろしくお願いいたします。

本日と明日の２日間、また、21 日の大阪で開催させていただきますフォーラムでは、さらに一層市場関係者の皆様の株券電子化を中心とする証券決済制度改革の御理解を深めていただきたいと考えているところです。

このフォーラムでは金融庁、学界、日本経済団体連合会をはじめといたしまして、このフォーラムを後援していただいております東京証券取引所や証券保管振替機構など、多くの関係者の皆様に講師として御参加をいただいております。また、証券決済制度改革では、市場事務関係者の皆様におかれましては、種々のシステム対応が必要となってまいりますが、そのシステムイメージなどの情報を御提供するためにＩＴベンダー、あるいはクリアリングバンク等の関係者の方々にも御協力をいただき、ブースの展示、あるいはセッションを行っていただいております。この場をお借りして御礼を申し上げるとともに皆様におかれましては、ぜひ積極的に情報収集をしていただきまして、今後の御参考にしていただければ幸いでございます。

以上、フォーラムの開催に当たりまして御挨拶とさせていただきますとともに、「証券決済制度改革推進フォーラム 2006」の開会をここに宣言させていただきます。どうもありがとうございました。